

# こみゆにてい 戸隠

## 戸隠地区住民自治協議会広報 第42号

戸隠地区住民自治協議会事務局  
〒381-4102 長野市戸隠豊岡1554  
Tel: 254-2490 Fax: 254-2327  
e-mail: togakusi-juumin@tgk.janis.or.jp

発行者：戸隠地区住民自治協議会長 小林 将信

【令和2年1月発行】

## 委員会活動報告

### 健康福祉委員会 福祉大会（福祉のまちづくり啓発事業）



五十嵐指導士の講演



力作を展示

今年の福祉大会・人権を考える集いは、爽やかな秋晴れの日に行われました。午前中は通称 風子さんと呼ばれる富永房枝さんによる足での音楽演奏や、生まれてから現在までの生活を細かくお話し頂きました。

障害を抱えながらアーティストとしても活躍され、常にさまざまな事に挑戦する気持ちを持ち続ける姿勢に、会場の参加者の皆さんも真剣に耳を傾けていました。

午後は「年をとっても動ける体づくり」として、健康運動指導士の方から椅子に座っても出来る運動などを実技とともにお話がありました。

1階では、福祉施設の方の作品展示や台風災害支援の福祉バザーや募金のコーナーなども設置されて、大勢の方に来ていただき、充実した大会になったと感じました。

健康福祉委員会副委員長 曾根原末美

### 公民館委員会 人権を考える集い



風子さんの演奏会



書き上げた色紙

11月2日、戸隠農村環境改善センターに於いて富永房枝さんを講師にお迎えし、「福祉大会人権を考える集い」が開催されました。ご自身の足指を使ってのキーボード演奏、勇気・元気を頂ける色紙を書いて頂きました。

講演後、福祉バザーや健康教室が行われ、健康運動指導士、五十嵐宏美先生をお迎えし、「年をとっても動ける体づくり」体験をしました。

ご来賓及び多くの方のご出席を頂き、楽しく過ごすことが出来ました。これから厳しい冬が訪れますが、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

人権学習実行委員長 羽田 進

## 青少年育成委員会 子供フェスティバル 10月20日



玉入れに奮闘する子どもたち



がんばったスタッフ集合

「令和の始まりに名を残そう！」8回目の子どもフェスティバルのテーマです。勢いのある素晴らしいテーマですね、それぞれの競技にも種目名がちゃんとあります。大人の発想ではとても思い浮かびません。今年の実行委員さんは男子4名から始まり徐々に増えて小6女子も加わえた8名で企画から当日まで5回の会議を重ねてきました。市内他地区でも同じ様な事はしているが、子供達が企画に加わる事はないようです。

自分たちが企画から携わって来たからこそ、自信をもって当日参加してくれる仲間を迎える事が出来たのだらうと思います。

縦割り班の中には当日参加のグループリーダーがいて、下級生をリードしていました。きっとこんなお兄ちゃん、お姉ちゃんになりたいと思ったことでしょう。みんなの笑顔からも、とがくしっここの人間力を感じました。

来年も大勢のご参加お待ちしております。

とがくしっこ応援団 小池

## 青少年育成委員会 青少年健全育成推進大会 11月11日



質問に答える三井先生



講演する三井先生

### 「メダリストのこぼれ」

リオ五輪のシンクロ競技で銅メダルを獲得した三井梨紗子さんと、彼女を紹介して下さった慶応大学教授村山光義氏をお招きして、対話形式での講演会を開きました。長野市出身の箱山元選手とは同期で仲良かったそうです。

村山先生の質問に三井さんが応える形で始まりましたが、その言葉の揺るぎないまっすぐさに、みんなが引き込まれていきます。「どんなに苦しくてもね、最終的に息が出来れば死にません」「1日の半分以上水中にいと、陸上の暮らしの方がきつくなる」「そのエネルギーの原動力は挫折や悔しさ。やっていたからには”やっていた”、と胸を張って言える人生を歩みたかった」…栄光の陰にある辛さや、想像もつかないほどの努力の積み重ねの上にメダルが輝いたのでしょ。

会場を歩きながら全員に大切なメダルを触らせて下さり、大興奮でした。子どもたちのキラキラした目がとても印象的です。

現在、大学院で女性アスリートと指導者の関係性や意義について研究の日々とか、女性ならではの指導とは？とどうと「女性って：：とちょっと考えてから、「(たとえ何もできないとしても) どうしたんだろう」と思いを寄せることが得意ですね、いわゆるお節介。その研究ですっ」と素敵な笑顔を見せて下さいました。

お送りする時「戸隠の子どもたち、純朴でこんな子どもたちがまだいるんだってびっくりしました」と言ってくれましたよ。

青少年育成委員会 副委員長 塚田 美和



小田切地区を訪問



長野ジビエ加工センター全景

10月4日（金）に第1回地域振興委員会視察研修会が行われ、9名の委員が参加し、小田切地区住民自治協議会と中条にある長野ジビエ加工センターを訪問して来ました。

小田切地区では、近年問題になっている、買い物弱者問題に対して運行している、乗合タクシー（かつら号）の説明をして頂きました。過疎化が進む中、小田切地区では、地区内の住民に対し生活向上の為に、かつら号を運行して、利用者も増えている様です。戸隠地区でも、市営バスの運行は有りますが、地区外への運行が有りませんので、その辺の所を改善していただき、戸隠地区外へ行く運行手段を考える必要性を感じました。

その後、戸隠地区でも問題になっている有害鳥獣対策に対する取組を長野ジビエ加工センターに見学に行きました。イノシシ、シカの解体施設を見学し、長野市いのしか対策課長から、施設の説明をして頂きました。

2ヶ所の訪問では、参加者からも多くの質問、意見が出て良い視察研修会になったと思えました。

地域振興委員会副委員長 松澤 周造



### 各地区開催の様子を紹介

今年度のおしゃべりサロンは、地域福祉ワーカーが各地を回りH30年2月に実施した「支え合い地域づくり」アンケートの結果報告をしています。H30年6月には全戸にアンケート結果を配布しましたが、それは戸隠全体を集計したものでした。今回は、皆さんの区に限定して集計結果を聞いていただき、これから来る超高齢化社会に備えて何が必要なのか考えていただく事を目的としています。

現在、戸隠地区の高齢化率は現在48.7%で約半数が65歳以上の高齢者となっていますが、しかし町に暮らしている方達よりは、仕事を退職しても、家の畑で農作業する方が多い為、元気な高齢者がたくさんいます。

団塊の世代が2025年には、75歳以上の後期高齢者になり介護施設の不足が予想されます。介護施設に頼らず、健康でいつまでも自分の家で生活していくにはどうすれば良いのか？考える機会が出来たと思います。

戸隠保健センターの保健師さんからは、戸隠住民の健康状態の傾向から、予防できる生活習慣病についての話と、国保の健康診断を積極的に受ける事で、医療費の削減につながり、健康的な生活を送ることができるというお話がありました。

このおしゃべりサロンは今年度の（2020年2月）まで実施します。これから何う予定になっている地区の皆様は是非ご参加下さい。そして、これからの事について話をしましょう。

地域福祉ワーカー 碓井

# 事務局からのお知らせ

## 公民館委員会 市民運動会の開催が中止になる

10月14日開催予定の第15回市民運動会が、台風19号による甚大な被害が伝えられるなか中止することに決定いたしました。8月から計画・準備を進めてきた実行委員会の皆さんご協力大変ありがとうございました。



寂しげな掲揚塔

## 「ながの未来トーク」開催中止のお知らせ

今年度計画され、11月26日に予定されていた「ながの未来トーク」の開催は台風19号の災害の為中止になりました。次年度の開催をお楽しみに

## やまざと支援交付金事業（殺鼠剤配布事業）

今年度の、殺鼠剤配布事業は、3月に区長さんから希望者宅に配布されます。取扱い説明書に従い事故のないように使用ください。

## 福祉大会の実績報告

来場者 約90人

バザーの売上金・福祉募金等 73,751円を長野市台風19号災害義援金に募金致しました。

※皆様のご協力ありがとうございました。



福祉バザーの会場

## 緊急医療情報キットの内容



記入済みの用紙を容器に入れて冷蔵庫に保管



マグネットは冷蔵庫の扉にはる



## 緊急医療情報キット配布のお知らせ

自宅において万が一のことがあった時の緊急医療活動などが円滑に行われるように備えるものです。

1月末頃に戸隠地区全戸に「緊急医療情報キット」が区長より配布されます。

- ・内容はプラスチック容器、記入用紙、冷蔵庫に貼るマグネットです。記入例を参照の上、用紙に記入し、冷蔵庫に入れて緊急時の情報提供に役立て下さい。

編集後記

年が替わり早1ヶ月が過ぎようとしています。昨年の10月に台風19号の被害により、今も不便な生活をされておられる皆様の1日も早い復興をお祈り申し上げます。

今年は災害の無い穏やかな年になるようお願いしたいものです。災害は、何時どこでおきてもおかしくありません。そんな時のために各戸で防災グッズ等の準備をしましょう。

まだ、寒い日が続きますが、健康に気をつけて厳しい冬を乗り切りましょう。

事務局